

授業科目 臨床薬理学

【担当教員名】  井上 弘樹	対象学年	4	対象学科	情報	
	開講時期	前期	必修選択	選択	
	単位数	2	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	○	
【概要】 薬理作用の把握と薬に関する基本的な考え方を理解し、薬理作用及び体内動態、薬効に影響を及ぼす要因について学ぶ。					
【行動目標：SB0】 1. 主要な薬物の薬理作用を理解することができる。 2. 薬物の体内動態の基本を理解することができる。 3. 薬剤安全性情報の収集と活用のしかたについて、説明することができる。 4. 創薬探索研究の流れと、市販後薬剤の薬効評価について概要を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	薬効のメカニズム				
2	医薬品の動態				
3	医薬品の相互作用と副作用				
4	抗感染症薬				
5	抗がん薬、免疫治療薬				
6	抗アレルギー薬、抗炎症薬				
7	末梢神経系に作用する薬物				
8	中枢神経系に作用する薬物				
9	心臓・血管に作用する薬物				
10	呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬物				
11	血液に作用する薬物				
12	代謝に作用する薬物				
13	眼・皮膚に作用する薬物				
14	漢方薬				
15	消毒薬				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、授業態度、筆記試験で総合的に評価する。			【履修上の留意点】		